

第41回村内めぐり駅伝大会

体育の日の10月10日には、第41回村内めぐり駅伝大会が行われました。今年は17チームが参加し、村内をめぐる11.2km、5区間のコースを走り、たすきをつなぎました。選手たちは、晴れ渡った空の下、スポーツの秋を満喫しました。なお、各部門の1位の記録は下記のとおりです。

一般男子	情熱大陸	51分27秒
一般女子	原中1年2011	48分32秒
中学生男子	ハーモニカ隊	39分14秒
小学生男子	ランナース4	47分38秒
小学生女子	キラキラガールズ	54分40秒



第72回原村誕生会 (前期)

10月14日、地域福祉センターで第72回原村誕生会が行われ、お子さんの成長を祝いました。今回は、平成22年10月1日から平成23年4月1日までに生まれた36人(男19人、女17人)のお子さんの内、33人が出席しました。

誕生会では、記念品が贈呈され、出席者全員で記念撮影を行いました。また、絵本の読み聞かせについてや生え始めた歯についての話が行われ、参加した保護者は熱心に耳を傾けていました。

記念品は、お子さんの健やかな成長を願い、ファーストブックと図書館利用カード、歯ブラシなどが贈られました。



原村敬老会



敬老の日の9月19日に、原村敬老会が開催され、招待した70歳以上の方々の長寿を祝いました。式典では、介護者表彰や記念品の贈呈などが行われ、多年にわたる社会への貢献に感謝しました。招待者代表の秋山長雄さんは、人生をドラマに例え、「最終幕が一番実がある。」と話し、この良い時がいつまでも続きますようにとあいさつしました。

原小学校読書週間

原小学校で10月5日、読書週間(10月3日から12日まで)の一環として、図書委員会の児童が、本に興味を持ってもらおうと全校集会で「おおかみと七ひきのこやぎ」の演劇を披露しました。

劇は、図書委員の児童たちが、休み時間や昼休み、委員会の時間などを使って練習を重ねてきたもので、演技を通じて物語りの楽しさを伝えていました。



原村戦没者追悼式



10月1日には、原村戦没者追悼式が行われ、遺族や関係者30人余りが参列し、日清戦争以降第二次世界大戦までの戦没者へ黙とうをささげ、一人ひとり、祭壇へ献花を行いました。参列した方々は、戦没者の冥福を祈り、平和への思いを新たにしました。

文化の秋、スポーツの秋 原中学校秋の三大行事

原中学校で9月・10月、もみの木祭と競歩大会の秋の二大行事が開催されました。

第52回もみの木祭



9月16日・17日の2日間、第52回もみの木祭が賑やかに開催されました。今年は、「絆」～mission "S"～というテーマを掲げ、取り組んできた学習の成果や合唱などを発表しました。mission "S"には、smile(笑顔)scrum(協力)success(成功)の意が込められており、開催式では、栗生千十瀬実行委員長が、このミッションの遂行を目指すため全校へ協力を呼び掛けました。

1日目には、意見文や英語スピーチなどのステージ発表や体育祭などが行われました。2日目に行われた合唱祭では、クラス、学年、全校合唱で練習の成果を披露しました。会場には、美しいハーモニーが響き、来場者を魅了していました。また、展示発表には、大勢の保護者らが訪れ、それぞれの展示をじっくりと眺めていました。



第32回強歩大会



森のシンフォニー 八ヶ岳美術館ナイトコンサート

9月18日夜、八ヶ岳美術館でナイトコンサートが開催されました。木製のオカリナ「樹・音」の奏者カンナさんや桃さんらが出演し、樹・音やキーボード、ギター演奏で、「ゆりかごのうた」や「フレンドウ」などを披露しました。会場には、およそ100人が訪れ夜の美術館に響くやさしい調べに耳を傾けていました。



10月7日には、第32回強歩大会が行われ、生徒たちが健脚を競いました。生徒たちは、秋の村内をめぐり、21.6kmのコースを走り、沿道では保護者らが声援を送りました。男女各1位の記録は以下のとおりです。
男子 小野寺陸さん 1時間33分04秒
女子 荒木瑞葉さん 1時間53分31秒
なお、クラス対抗では、1年2組が優勝しました。